

# ラジウム原器国際委員会

## 証明書

ラジウム試料第8号は、ヨアヒムシュタールのピッチブレンドから塩化物として調製され、事実上メソトリウムは含まれていない。

ラジウム塩 10.26mg を含有する。

1913年7月1日、厚さ0.27mm、外径3.2mm、長さ23mmのガラス管(チューリンゲンガラス)内に封入され、一端に細い白金線が融着されている。

副原器として、複数の $\gamma$ 線法により、ウィーン原器およびパリの国際原器に対して独立に較正された。

$\gamma$ 線法による計測で、1913年において塩化ラジウム 9.80mg(年間壊変は約0.4/1000)を含有する。

原子量を下記とする場合、

ラジウム 226

塩素 35.457

臭素 79.916

これは以下に相当する。

ラジウム 7.46mg

塩化ラジウム 9.20mg

臭化ラジウム 12.74mg

これらの精度は0.2%と考えられる。

ウィーンでの計測担当 Stefan Meyer

パリでの計測担当 M. Curie

委員長 E. Rutherford

